

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
小川朝生	第2章 がん患者の「からだ」と「こころ」	鈴木伸一	からだの病気のこころのケア	北大路書房	京都市	2016	18-29
小川朝生	せん妄	森田達也、 <u>木澤義之</u>	緩和ケアレジデントマニュアル	医学書院	東京都文京区	2016	261-8
小川朝生	はじめに	小川朝生	そうだったんだ！認知症治療・ケアがうまくいかないのは認知症のせい？	文光堂	東京都	2016	iii-iv
小川朝生	認知症の人をとりまく問題問題－「認知症＝もの忘れ」だけではありません！	小川朝生	そうだったんだ！認知症治療・ケアがうまくいかないのは認知症のせい？	文光堂	東京都	2016	1-6
小川朝生	認知症に気付く（初診・入院時）	小川朝生	そうだったんだ！認知症治療・ケアがうまくいかないのは認知症のせい？	文光堂	東京都	2016	7-11
小川朝生	環境調整	小川朝生	そうだったんだ！認知症治療・ケアがうまくいかないのは認知症のせい？	文光堂	東京都	2016	128-34
小川朝生	退院支援	小川朝生	そうだったんだ！認知症治療・ケアがうまくいかないのは認知症のせい？	文光堂	東京都	2016	135-40
小川朝生	せん妄への対応不穏や焦燥感の背景にある身体的問題を見落とさない	長尾和宏	スーパー総合医 緩和医療・終末期ケア	中山書店	東京都文京区	2017	113-9
<u>木澤義之</u> 他	緩和医療ケースファイル	森田達也 <u>木澤義之</u>	緩和医療ケースファイル	南江堂	東京都	2016	全項

		新城拓也					
木澤義之 他	緩和ケアレジデ ントマニュアル	森田達也 木澤義之 西 智弘 松本禎久 森 雅紀 山口 崇	緩和ケアレジ デントマニユ アル	医学書院	東京都	2016	全項
木澤義之 他	心肺蘇生に関す る望ましい意思 決定のあり方に 関する研究	「遺族によ るホスピ ス・緩和ケ アの質の評 価に関する 研究」運営 委員会	遺族によるホ スピス・緩和 ケアの質の評 価に関する研 究3	青海社	東京都	2016	129-134
濱野 淳	第5章 さまざ まな状況での緩 和ケア：在宅医 療	監修：森田 達也／木澤 義之 編 集：西智弘 ／松本禎久 ／森雅紀／ 山口崇	緩和ケアレジ デントマニユ アル	医学書院	東京	2016	348-360
濱野 淳	独居の患者に対 するオピオイド の投与	森田 達也	がん疼痛の処 方 さじ加減 の極意	南山堂	東京	2016	200-209
濱野 淳	オピオイドスイ ッチング	森田 達也	がん疼痛の処 方 さじ加減 の極意	南山堂	東京	2016	364-372
濱野 淳	嘔気で難渋する オピオイド-導 入-	森田 達也	がん疼痛の処 方 さじ加減 の極意	南山堂	東京	2016	90-99
濱野 淳	がん疼痛の機 序、分類	長尾和宏	スーパー総合 医 緩和 医 療・終末期ケ ア	中山書店	東京	2017	15-17

雑誌(外国語)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Fujisawa D, Inoguchi H, Shimoda H, Yoshiuchi K, Inoue S, <u>Ogawa</u> <u>A</u> , et al.	Impact of depression on health utility value in cancer patients	Psychooncology	25(5)	491-5	2016
Onaka Y, Shintani N, Nakazawa T, Kanoh T, Ago Y, Matsuda	Prostaglandin D2 signaling mediated by the CRTH2 receptor is involved in MK-801-induced	Behavioural Brain Research	314	77-86	2016

T, <u>Ogawa A</u> , et al.	cognitive dysfunction.				
Yotani N, <u>Kizawa Y</u> , et al	Differences between Pediatricians and Internists in Advance Care Planning for Adolescents with Cancer.	J Pediatr.			2016 Dec 28. [Epub ahead of print]
Amano K, <u>Kizawa Y</u> , et al	Eating-related distress and need for nutritional support of families of advanced cancer patients: a nationwide survey of bereaved family members.	J Cachexia Sarcopenia Muscle.	7(5)	527-534	2016 Dec
Morita T, <u>Kizawa Y</u> , et al	Nationwide Japanese Survey About Deathbed Visions: "My Deceased Mother Took Me to Heaven".	J Pain Symptom Manage.	52(5)	646-654. e5.	2016 Nov
Kakutani K, <u>Kizawa Y</u> , et al	Prospective Cohort Study of Performance Status and Activities of Daily Living After Surgery for Spinal Metastasis.	Clin Spine Surg.			2016 Oct 19. [Epub ahead of print]
Mori M, <u>Kizawa Y</u> , et al	Unmet Learning Needs of Physicians in Specialty Training in Palliative Care: A Japanese Nationwide Study.	J Palliat Med.	19(10)	1074-1079	2016 Oct
Okuyama T, <u>Kizawa Y</u> , et al	Current Status of Distress Screening in Designated Cancer Hospitals: A Cross-Sectional Nationwide Survey in Japan.	J Natl Compr Canc Netw.	14(9)	1098-104	2016 Sep
Sakashita A, <u>Kizawa Y</u> , et al	How to Manage Hospital-Based Palliative Care Teams Without Full-Time Palliative Care Physicians in Designated Cancer Care Hospitals: A Qualitative Study.	Am J Hosp Palliat Care.	33(6)	520-6	2016 Jul
Aoyama M, <u>Kizawa Y</u> , et al	The Japan Hospice and Palliative	Am J Hos Palliative Care.		1-11	2016 May 2. pii:

	Care Evaluation Study 3: Study Design, Characteristics of Participants and Participating Institutions, and Response Rates.				10499091166 46336. [Epub ahead of print]
Nakazawa Y, Kizawa Y. et al	Population-Based Quality Indicators for Palliative Care Programs for Cancer Patients in Japan: A Delphi Study.	J Pain Symptom Manage.	51(4)	652-661	2016 Apr
Hamano J, Yamaguchi T, Maeda I, et al.	Multicenter cohort study on the survival time of cancer patients dying at home or in a hospital: Does place matter?	Cancer	122(9)	1453-1460	2016
Hamano J, Tokuda Y, Kawagoe S, et al.	Adding items that assess changes in activities of daily living does not improve the predictive accuracy of the Palliative Prognostic Index.	Palliative medicine	Epub		2016

雑誌(日本語)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>小川朝生</u>	サイコオンコロジーの立場での意思決定とは～これからの超高齢社会をふまえて～	がん看護	21(1)	16-21	2016
<u>小川朝生</u>	せん妄予防の非薬物療法的アプローチ	医学のあゆみ	256(11)	1131-35	2016
<u>小川朝生</u>	「早期緩和ケア」と「診断時からの緩和ケア」の問題をその背景から考える	Cancer Board Square	2(1)	66-9	2016
<u>小川朝生</u>	せん妄って何?	緩和ケア	26(2)	89-93	2016
<u>小川朝生</u>	現場の取り組みで学ぶ発達障害と職場適応に向けたかかわり方 空気が読めない!	看護人材育成	13(1)	103-7	2016
<u>小川朝生</u>	現場の取り組みで学ぶ発達障害と職場適応に向けたかかわり方 パ	看護人材育成	12(6)	95-101	2016

	ニックになる！！				
小川朝生	がん治療における精神的ケアと薬物療法	臨床消化器内科 6月増刊号 消化器がん化学療法	31(7)	77-81	2016
小川朝生	認知症をもつ高齢がん患者の特徴とアセスメントおよびケアのポイント	がん看護 1+2 増刊号 老いを理解し、実践に活かす 高齢がん患者のトータルケア	21(2)	141-4	2016
小川朝生	意思決定能力	臨床精神医学	45(6)	689-97	2016
小川朝生	アドバンス・ケア・プランニングとはなにか	Modern Physician	36(8)	813-9	2016
小川朝生	せん妄に関して最近わかってきたこと、知っておくべきことー予防的介入がインシデントを減らす	患者安全推進ジャーナル	44	10-6	2016
小川朝生	急性期病院における認知症対応	病院羅針盤	7(84)	11-6	2016
小川朝生	ぼちぼち	緩和ケアー緩和ケアの魔法の言葉 どう声をかけたらいいかわからない時の道標	26(Suppl. JUN)	41-2	2016
小川朝生	がん検診から医療機関受診までのストレスについて	ストレス&ヘルスケア 2016 年秋号	222	1-3	2016
小川朝生	がん・終末期のせん妄	月刊 薬事	58(16)	65-70	2016
小川朝生	がん患者のせん妄に対する対策	腫瘍内科	18(5)	408-12	2016
小川朝生	非薬物療法によるせん妄の予防	Progress in Medicine	36(12)	1665-8	2016
小川朝生	HIV 感染による認知症	臨床精神医学 精神科・わたしの診療手順	45 増刊号	471-4	2016
小川朝生	病棟・ICU で出会うせん妄の治療 がん・終末期のせん妄	月刊 薬事	58(16)	65-70	2016
小川朝生	家族のストレスと支援について	ストレス&ヘルスケア 2016 年冬号	223	1-3	2016
小川朝生	認知症の緩和ケア	精神神経学会雑誌	118(11)	813-22	2016
小川朝生	乳癌治療における緩和治療④ 精神症状	乳癌の臨床	32(1)	31-5	2017
島田麻美, 木澤義之	【前立腺癌 がん・合併症・有害事象での薬物治療戦略を総まとめ】前立腺癌有痛性骨転移患者の疼痛緩和におけるオピオイドの匙加減	薬局	67 巻 11 号	3063-3068	2016
木澤義之 他	【レジデントにとって必須】今後のことを話し	レジデント	9 巻 7 号	96-101	2016

	あおう				
<u>木澤義之</u> 他	がん薬物療法とアドバンス・ケア・プランニング	癌と科学療法	43(3)	227-280	2016
<u>濱野 淳</u>	あなたの患者さんが亡くなったら驚きますか？-サプライズクエッション	緩和ケア	26(5)	346-349	2016
<u>濱野 淳</u>	鎮痛補助薬の使い方	在宅新療	2(1)	33-38	2017
松本佳子、 <u>飯島勝矢</u> 他	実多職種連携研修を通じてのチームビルディング:各地の取組みから学ぶもの 1) 在宅医療多職種研修とその広域展開の戦略	Geriatric Medicine	54(6)	585-589	2016
<u>平井 啓</u>	意思決定支援と行動経済学. 終末期の意思決定-アドバンス・ケア・プランニングの実践をめざして-	Modern Physician	36	881-885	2016
<u>平井 啓</u>	精神・心理的コンサルテーション活動の構造と機能	総合病院精神医学	28	310-317	2016

